

8.農業振興活動

★新規就農者の門出を祝う 新規就農者セレモニー★

JA都城が運営する新規就農者を育成するための研修施設「トレーニングセンター」に入植し、令和2年7月から独立就農を開始した西留拓朗さんの「新規就農者セレモニー」が同年10月に行われました。JA関係者や関係機関、研修生受入農家ら13人が集まり、西留さんの門出を祝いました。

同施設は、JA都城の主力品目である促成キュウリでの新規就農を希望する人が施設を利用し、独立就農を行いながら経営のノウハウを学ぶことができる施設で、JAが地域農業の担い手確保・育成のために整備しました。



★都城産へべす初出荷★

JA都城が平成30年から新たな果樹のひとつとして導入を進めてきた「へべす」の初出荷が令和2年8月から始まりました。都城産へべすが出荷されるのは初めてです。約3年がかりで本格出荷にこぎつけた関係者は「都城の新たな特産品に」と期待を寄せます。

ブランド保護などの観点から日向市など特定の地域でしか栽培できなかったへべすが、平成30年より宮崎県全域へ栽培が可能となったことを受け、JA都城では都城地域を新たなへべすの産地とするために管内の農家に導入を呼びかけてきました。現在、19戸が約2.9haで栽培を行っています。



★収穫物で楽しくクッキング♪ぼんちアグリスクール★

都城地域農業振興センター（事務局：JA都城）は、「ぼんちアグリスクール」の講座の一貫として、講座の中で受講生自らの手で育てたサトイモとサツマイモを使った料理教室をJAクッキングスタジオ美菜味で開催しました。

受講生や関係者11人が参加。受講生は手塩にかけて育てた野菜を楽しく調理しおいしい料理を堪能しました。

この取り組みは、受講生に自らの手で野菜を育て、実った野菜を収穫して食べるという一連の流れを体験してもらいたいという思いから平成30年より実施しているものです。

